

# 結成35年総会親睦深める



みんなそろって記念撮影

今年結成35年を迎えた岡山観一同窓会の本年度総会・懇親会が6月15日、岡山駅前のサンビーチ岡山で開かれ、会員30人が参加。来年3月の史跡巡り実施などの事業計画を決めたあと、卒業生が近い会員が並んだ円卓テーブルで、にぎやかに会食しながら親睦を深めました。

## 懇親会大盛り上がり

佐川弘治郎会長（昭40年卒）の開会挨拶に続いて、来賓の三宅昭二本部同窓会長、香川泰造校長、高橋憲一京阪神支部副幹事長が、香川県内外の同窓会20支部の活動や観

城散策のスライドを映し、興味深そうに遺物を見学する参加者の姿を見てもうりました。役員は佐川会長以下全員留任です。

一高の現状など報告。「今年256人が卒業し、これで全卒業生が4万人を超えた」、「建設中の校舎は12月に完成し、来年3月に入居する」、「会員2200人の京阪神支部の総会出席は170人程度で、岡山の方が出席率がいい」などの話を頂きました。

記念撮影の後、懇親会へ。今回も三豊市から駆け付けてくれた観一会・宴会部長の前川宗正さん（平3年卒）の司会で一気にヒートアップ。各テーブルで酒を酌み交わしながら盛り上がり、合間に初参加者のスピーチや、顧問松浦良行さん（昭19年卒）が昭和54年の会結成時を振り返った文章Ⅱ面に要旨掲載Ⅱの朗読もありました。

活動計画案の討議では、3月の鬼ノ城散策が好評だった史跡巡りを本年度も開くことを決めました。その後、鬼ノ

最後に三豊中、観一校歌を高らかに斉唱。続いて、三

声高らかに校歌を歌う



宅会長が戦後数年間歌われた「学園の歌」を披露し、久保恭宏副会長（昭33年卒）の挨拶で閉会しました。

今年も山陽新聞ちまた欄「集い」に、この日の記念写真を送りました。8月中旬以降、掲載とのことです。

## 会長 佐川 弘治郎

平素より岡山観一会の活動にご理解・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、この度、平成26年度総会を開催するに当たり、準備段階で出席者が10名余りという、極端に少ないことが予想される事態が起きました。このことは、出席者には十分意味のある機会を提供出来ない、そして遠路ご出席くださるご来賓の方々に申し訳ないと思いつき、一時は中止も考えました。その後、役員からの依頼や会員相互の呼びかけで、少しずつですが出席者が増え、開催にこぎ着けました。三宅昭二本部会長様をはじめご来賓の皆様から激励の言葉やご指導を頂きました。

## 総会・懇親会を終えて

よくご出席下さっている方にはご理解頂けていることですが、この会を通して出合い、共通の母校・観一や古里をベースとして親睦を深めることができることは、生活のひとコマとして大変意義深いものであり、先輩達が育ててきたこの素晴らしい会を発展させなければならぬと考えます。

つきましては、岡山観一会の活動にご指導、ご鞭撻を賜りますとともに、お知り合い同士、声を掛け合っご出席下さいますようお願いいたします。

顧問の松浦良行さんが、岡山観一会結成35周年に当たって、「思い出すままに 2つの話」という文章を寄せてくださいました。その要旨を掲載します。(文責・滝本)

昭和54年、故郷三豊・観音寺は最高に熱く燃え上がっていました。我々の大先輩大平正芳先生(旧制三豊中24回生)が時の総理大臣になられた時で、まさにこの時、岡山観一会が呱呱の声を上げたのです。

初代会長の岡崎耕三先生は豊浜町和田出身で、大平先生とは豊浜観音寺間を一緒に汽車通学された先輩、後輩の仲。そのよしみで総理に名誉会長になって頂きました。

後日、大平総理が岡山に遊説にいられた時、岡崎先生が花束を贈呈されましたが、50年振りの再会に感極まった感じで、強く長く握手されたのがつい昨日のことのように思い出されます。

第1回総会には62名の同窓生が集

岡山観一会役員

<顧問>

- 松浦 良行 (S. 19卒)
- 玉井 徹 (S. 29卒)
- 床田 弘幸 (S. 29卒)
- 河合 京子 (S. 35卒)

<会長>

- 佐川弘治郎 (S. 40卒)

<副会長>

- 石井 成毅 (S. 31卒)
- 久保 恭宏 (S. 33卒)
- 片山 泰弘 (S. 36卒)
- 若林みどり (S. 39卒)
- 尾崎 敏文 (S. 55卒)

<理事>

- 高坂つた子 (S. 30卒)
- 真鍋 五男 (S. 38卒)
- 小西 康夫 (S. 41卒)
- 高橋 誠 (S. 45卒)
- 宇賀 博 (S. 44卒)
- 大平 正典 (S. 47卒)
- 秋山 博正 (S. 51卒)
- 尾崎 美樹 (S. 55卒)
- 西宇 建雄 (S. 59卒)
- 吉田 卓央 (H. 元 卒)

<事務局>

- 滝本 清文 (S. 40卒)
- 小出 博 (S. 43卒)

顧問 松浦 良行

「思い出すままに 2つの話」

まられ、三豊弁丸出しで盛り上がり、大変喜んで頂きました。大平総理から祝電も頂きました。最高齢者は、高室出身で、大正4年卒、11回生の田代文雄さん(80歳、元高校教師)でしたが欠席。出席者では、大平総理と同期の片木さん(津山)、1年後輩の田中亀次郎さん(クラレ労組委員長)、27回生の岡崎耕三先生(元日本弁護士連合会副会長)、28回生の玉野の中村供一先生(歯科医院長)らが先輩でした。

直近の話ですが、5月に出雲大社の千家家とご婚約された高田宮家の次女典子さんの祖父鳥取滋次郎さんは、豊中町笠田出身の37回生です。娘の久子さんは昨年、その素晴らしい語学力とスピーチで東京五輪決定に大きく貢献されました。滋次郎さんと安倍総理の父晋太郎さんは東大同期で、家族ぐるみのお付き合いとかで、久子さんの東京五輪招致委員就任へ総理の強い要望があったようです。

鳥取家の先代為次郎さんも明治39年卒の2回生。戦前は代々村長を務められた旧家、いわゆる地方の素封家、篤志家でした。以上思い出すままに綴ってみました。

古代人の気分で散策

会員ら16人、鬼ノ城巡る

3月15日、会員有志で総社の鬼ノ城を散策しました。昨年に続き2回目の史跡巡りです。

古墳群が見え、好天の散策日和でした。

初めにビジターセンターで元県古代吉備文化財センター

長高畑氏(43年卒・高畑富子さんの夫)の説明を聞きま

した。復元された西門前で集合写真を撮り、青空の下、古

代人になった気分で下界を眺めました。その後、城壁跡遊



鬼ノ城西門前でパチリ

平成26年度事業計画

1. 総会・懇親会 6月15日 11時~14時
2. 会報「岡山観一会だより」3号発行 7月下旬
3. 青春会(ミニ懇親会) 11月15日(土)
4. 役員会 平成27年3月上旬
5. 史跡巡り 訪問先未定 3月

歩道を約2時間かけて散策しました。古代山城鬼ノ城は、城壁が鉢巻状に約300m巡り、城門は東西南北4カ所、排水用の水門が6カ所あります。7世紀後半、朝鮮半島の白村江の戦いに倭国が敗れ、敵国唐・百済の侵攻に備えて築かれたと考えられ、高松市の屋嶋城も同時期に築城したと推測されています。来年3月に史跡巡りを計画しています。行き先は年明けに決まります。これまで参加していない人で関心のある方は事務局・小出博までご連絡下さい。